

令和7年度都立三宅高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「読解力」の向上	・教科会で年間授業計画、指導事項を共有 ・漢字検定受検への取組 ・読解問題演習を全学年で展開	・一人一台端末を活用した調査及び作文、小論文、レポートなどの実作 ・読解問題演習、大学入試問題研究
社会	・資料の読み取りと考察 ・基礎学力の定着	・授業における資料読解及び考査における資料問題を増やす。 ・協働学習により思考力・判断力を相互に育ませ、学力に差がある中でも指導を深める。	・読解・考察した内容を、一人一台端末を活用して発表させる。 ・少人数授業であることを最大限生かし、個々の生徒に合わせた対応を行う。
数学	・数学的な見方、考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉えながら解法を見いだせる教材の開発。 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業の実施。	・問題解決の過程を振り返りながら考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。
理科	・基礎知識の定着 ・科学的に探究する資質・能力の育成	・ワークの利用や小テストの充実 ・実習実験を通して、課題に取り組み、論理的に解決する活動ができる授業を実施する。	・日常生活や社会との関連を図りながら、科学的事象について、自ら課題を設定し、観察、実験を実施する。
外国語	・「話すこと」の指導の充実	・各授業で「話すこと」に関する活動を実施する。 ・実生活に関係するダイアログの練習を多く取り入れる。 ・学習した文法事項を使用して文章をつくる練習を実施する。	・TGGの利用と利用に向けての会話練習 ・実用英語技能検定取得に向けた面接練習 ・オンライン英会話の利用